

古代ローマの輝き **世界遺産** ポンペイ展

21世紀は私たちと同じくらい豊かですか。

2001年11月10日(土)～2002年1月27日(日)



「パン屋の夫婦」

ポンペイで発掘された肖像画は、あまり多くない。その中で最も有名な肖像画。邸宅の壁に刻まれていた選挙推薦文から、長い間、パクイウス・プロクルスとその妻の肖像と考えられていた。だが現在では、家の主人でパン屋のテレンティウス・ネオとその妻であると理解されている。洗練された知識人として描かれていて、パピルスの巻物や、鉄筆、二つ折りの書き板を持っている。

2000年のタイムカプセル

古代ローマ時代、ポンペイは農業や貿易で栄え、1万数千人が暮らしていましたが、西暦79年、ヴェスヴィオ山の噴火で火山灰に埋もれてしまいました。18世紀に始まった発掘で、地中から舗装された道路や公共広場、闘技場などが次々に姿をあらわしました。「ポンペイ展」は自然の恵みを利用して豊かな生活を送っていた2000年前の人々に出会う「タイムカプセルの扉」です。360点にもおよぶ壁画や彫像、ガラス細工、化粧品や装身具、医療器具などが、2000年の時をこえて私たちの前によみがえります。

最新の研究結果 ～ローマ時代の豊かな暮らし～

ポンペイには今の生活と変わらない水道、劇場、公共浴場、市庁舎などがありました。「ポンペイ展」では、自然環境や文化、科学、技術などの多角的な視点で、ローマ時代の「人と暮らし」を紹介します。町のメインストリートにあった「ポリビウスの家」の遺跡調査の最新成果を、家の模型や映像に生かし、当時の人々の食事や住まい、日々の生活を明らかにし、噴火直後の人々の最後の行動に迫ります。

「庭園の風景」

ポンペイとその近くの遺跡エルコラーノでは、自然の植物や動物を描いた、緻密で洗練された絵画は、通常、住宅の中で、戸外に向かって開かれたスペースに

配置されていた。庭園画の起源は、ヘレニズム美術、特にアレクサンドリアの風景画にさかのぼる。この壁画は、ヴェスヴィオ山近郊で発掘された同じジャンルの作品の中でも、傑作の一つに数えられている。この邸宅の、庭に面した部屋の壁面を飾る、大きな絵画装飾の一部だった。



- **会 期**：2001年（平成13年）**11月10日**（土）
～2002年（平成14年）**1月27日**（日）
- **主 催**：神戸市、神戸市立博物館、(財)神戸国際観光コンベンション協会、朝日新聞社
- **後 援**：外務省、イタリア大使館、日本におけるイタリア年財団、日本ユネスコ協会連盟、NHK神戸放送局
- **特別協賛**：凸版印刷株式会社
- **協 賛**：Enel
- **協 力**：アリタリア航空会社、ゼネラル保険会社、日本通運株式会社
- **学術協力**：東京大学文学部象形文化研究拠点

● **開館時間**

	全期間（原則） 11/10～1/27	ルミナリエ期間中 12/12～12/25	年末年始 12/28～1/4
開館時間	10：00～17：00 (入館16：30)	10：00～19：00 (入館18：30)	休 館
休 館 日	月曜日 月曜日が祝日の場合、翌日	無 休	休 館

● **入館料**

	当日券	前売り券	団体券（30人以上）
一 般	1,200円	1,000円	900円
高校生・大学生	900円	750円	700円
小学生・中学生	400円	300円	250円

※シルバーは600円 神戸市すこやか福祉手帳の提示が必要

※団体は30名以上

※高・大生は高等学校、高等専門学校、予備校、短期大学、看護専門学校、大学、大学院等で学生証によって身分を確認できる方

お問い合わせ ☎06-4860-8600 (10月より)